

## 公開文書例

令和 2 年 7 月 1 日 (臨床研究に関する公開情報)

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 脳動脈瘤コイル塞栓術治療における Target XL coil の有用性

[研究責任者] 水戸医療センター 医師 山崎友郷

[研究の概要]

脳動脈瘤コイル塞栓術においては、術後の再発率を抑えるため高い volume embolization ratio (VER) を得ることが重要である。Target XL はコイル素線径を大きくすることにより高い VER を得る一方、柔軟性を合わせもつ特徴を有しており、一定以上のサイズの脳動脈瘤治療で有用と考えられる。当院において破裂脳動脈瘤に対してコイル塞栓術を施行した症例で、XL 使用群と非使用群とに分け、その効果と有用性を後方視的に比較検討した。

[個人情報の取扱い] 利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先] 国立病院機構水戸医療センター 脳神経外科

電話 029-240-7711 FAX 029-240-7788